

今年も、実りの季節になりました。
長い梅雨など天候に一喜一憂させられた今シーズン。
無事にピオーネの収穫を迎えられたことを
ありがたく思っています。
今年のあらき農園の様子をご覧ください。



収穫前のぶどう園にて(8月)

天候にハラハラのピオーネ

毎年異常気象と言われますが、今年は暖冬で春も暖かったので開花が例年より早いのでは、という予想でした。花の満開から3~5日以内に種無し処理をしなければならないのですが、その満開までに約2万本(今年では)ほどの花穂を1本ずつ指の先ほどに(約3.5cm)整形する作業があります。「花に追い越される～」と焦りましたがなんとか間に合いホッとしました。開花時期になると今度は一転、寒い日が数日続いたからか房先が変に間延びしたものが多く、房づくりが大変でした。



ピオーネの開花(6月)

今年は、なかなか梅雨が明けず雨が多かったせいか草の伸びが旺盛で、虫も多くブヨ(蚊よりも小さいけれど、かゆみとはれは数倍)に嫁が刺され、顔がえらくはれたため医者に行くというアクシデントもありましたが8月上旬にやっと梅雨明けし、待望の夏空が広がりました。



種無し処理(6月)

昨年より数日遅く、9月上旬より収穫を始めました、今は出荷作業に追われる毎日です。

早く熟したブルーベリー

当園のブルーベリーは、収穫がぶどうの仕事と重ならないように、できるだけ晩生の品種を中心に植えています。

今年は暖冬の影響か一部早いものは6月下旬には熟してきたので、放っておくわけにもいかず、ぶどうの作業を始める前に大急ぎで収穫しました。



着色前の果実(6月)

今年も直売所、道の駅などに出荷。世間で健康食品として認知されたためか売れ行きも好調でした。残念なのは7月にはいつかの長雨で裂果が多かったことと最盛期の収穫があまり出来なかったこと。また、木の中に蜂が巣を作っており気づかず刺されてしまいました。幸い小さな蜂だったので大事には至りませんでした。

今年はスムーズな自然薯づくり

自然薯づくりも3年目、昨年は種芋がほとんど腐ってしまい植え替えなどで大変でした。収穫できた自然薯は1kg近い大きなものから、種芋にしか使えないよ



自然薯畑(8月)

うような小さなものまでいろいろ。栽培容器から外れてしまったものも結構ありました。新山自然薯生産組合の「じねんじょ祭り」で売ったり、通信販売、直売所、道の駅などに出荷。粘りと風味が素晴らしく、美味しいのですが、高価なので飛ぶようには売れてくれません。(皆さんよろしく!)

昨年は借りた畑も広く、半分ほどは何も植えられず草を生やすだけだったので、今年は別の場所に一回り小さい畑を借り、本数もセーブして250本を植えました。早めに



掘り取ったばかりの自然薯(昨年12月)

作業を進めたのが良かったのか4月中旬に植付けた種芋は、ほとんど無事発芽してその後の成長も良く青々と葉を茂らせています。



じねんじょ祭り(昨年11月)

ト

ピ

ツ

ク

ク